中央区健康づくり元気会が提案する　四季を楽しむウォーキングマップ

コース No.02 新緑と紅葉コース

約3.7km
約5,200歩
約45分

街路樹の代表選手は ナナカマドとイチョウ

知識

札幌の街路樹の中で最も多く植えられているのがナナカマドとイチョウです。春みずみずしい緑色の葉っぱをつけているナナカマドは、秋になると赤く色づき深紅の実をたわわにつけています。夏、木陰を作ってくれるイチョウは黄一色に変わります。「赤」と「黄」は、札幌の秋色。南9条西15丁目から旭山記念公園に続く南9条通りは、街路樹に季節を感じることができる道です。ちなみに中央区はニセアカシアの街路樹が多いそうです。

要チェック

冬、ナナカマドの真っ赤な実が白い雪をかぶって鮮やかに。ふんわり綿帽子をかぶったように見えることもあります。

プラタナスの大きな葉が日差しを和らげさわやかな夏の散歩道を演出してくれます。

銀杏やナナカマドが色づき黄金色の落葉がじゅうたんとなります。







消費カロリー
約150kcal
ごはん茶碗 2/3杯

トイレ　プラタナス、ハルニレなど　イチョウ　ナナカマド

四季折々の鳥たちや 草花や歴史ある老木などがみなさんを迎えてくれます。
旭山記念公園では、札幌市民の憩いの場として楽しいイベントも開催されています。

中央健康づくりセンター（スタート）→ 南3条通（西へ）→ プラタナス並木 → 南3西14 → 西へ → 電車通（南へ）→ 電停 西線9条駅 → 豊水旭山公園通（西へ）→ 旭山公園通 地区センター → 啓明中学校 → 界川1 → 界川本通（南へ）→ 旭山記念公園（ゴール）